

観点	評価項目	良い点 課題点	多良中学校	大浦中学校
施設	敷地等の規模	良い点	・体育館のエレベーターなどバリアフリーが良い ・<u>体育館は新しい</u> ・<u>体育館内に武道場がある</u> ・教室棟と管理棟が分離しており工事しやすい。また、分けて工事をする と 空き教室が利用できる ・<u>プールがある</u> ・<u>小学校と近い</u> ・コンパクトにできる	・とても広くまとまった環境で開放感がある ・<u>自然が多く心豊かに育つ環境が整っている</u> ・ナイター設備がある ・<u>運動場が広い</u> ・図書室や武道場が良い ・<u>図書館が1階にあるため利便性が良い</u> ・横長の1棟で管理できる
		課題点	・狭い、暗い、風通しが悪い、導線が悪い、運動場、体育館以外はすべて変えてほしい ・<u>狭いためどう設計するか工夫が必要</u> ・プールはなくていいのでは ・<u>体育祭時の200mトラック、テントなど若干狭く感じる</u> ・既存校舎は教室の配置が分かりにくい ・2階に職員室を作れば、4階も可能かと思う。 ・プールをなくして運動場を少し広げる	・<u>プールがない</u> ・移動に時間がかかる
	施設の築年数	良い点	・体育館はそのまま利用できる	・管理特別教室棟は、まだ床も壁もドアもきれいなため補強工事すればまだ使用できる。しかし、建て替えるなら全部いっぺんに変えるべき ・多良中学校より比較的築年数が浅い ・技術教室、武道場、図書室、体育館はそのままでよい
		課題点	・管理教室棟だけでなく普通教室棟、特別棟もすべて古さを感じる。壁、床、ドアすべて古く暗い。校舎構造すべていいイメージを持ってない ・半分先に建て替えのようにするのではなく、いっぺんに変えたほうがいい。 ・技術室も古さがあるので、いっぺんに変えたほうがいい ・<u>このタイミングで管理教室棟と特別普通教室棟のどちらも合わせて建替えたほうが良い</u>	・<u>このタイミングで教室棟と管理特別教室棟のどちらも合わせて建替えたほうが良い</u>
安全	ハザードマップ（土砂・高潮）	良い点	・土砂高潮の心配はなさそう ・<u>救急時の対応は早い</u> ・海拔はほぼ変わらない ・<u>学校を出ても避難をしやすい</u>	・思ったよりも高潮の心配がなさそう ・海拔はほぼ変わらない ・大雨でも大きな被害はない
		課題点	・以前、よめ川など大雨の時に多少溢れたので、川の対策と建物の高さを出す ・駐車場が少し低い ・運動場の崖が少し心配 ・<u>川の近くのため大雨の際の浸水対策</u> ・イノシシ出没 ・グラウンド裏が土砂災害特別警戒区域である	・大雨の際、校舎前の崖心配 ・カーブが多い ・高潮や津波の心配 ・以前、台風の際に窓ガラスが割れることがあった ・イノシシ出没 ・台風が校舎南側を通ったとき、高潮であれば北側が大変で、南側の土砂が心配
	通学等の安全性	良い点	・自転車通学してもよい広い道幅 ・街中であるため防犯的には良い ・スクールゾーンの区間がある ・<u>歩道もあり安全</u> ・国道207号線を利用しての通学が比較的少なく安全性は高い	
		課題点	・雨の日の車の送迎はどこにするか要検討 ・地域の安全、徒歩の生徒の安全を確保すべき ・<u>スクールバスの乗降先も要検討</u> ・車の交通量は多い	・雨の日の車の送迎はどこになるのか要検討 ・保護者の車もスクールバスの乗降場など広いスペースにのみにして、地域の安全、徒歩の生徒の安全を確保すべき ・亀の浦からの道は狭く車送迎、バスの送迎は危険 ・<u>道幅が狭いし、歩道がない</u> ・自転車通学は厳しい ・駅からの高低差がある ・国道207号線を利用して通学する生徒が多く事故等危険を伴う

観点	評価項目	良い点 課題点	多良中学校	大浦中学校
立地・地域性	学校周辺環境	良い点	・<u>役場、図書館、しおさい館、公民館、B&G、野球場などがある。子どもたちが放課後過ごす場として、既存の部活動、サークルなどと連携し、スポーツ、文化を体験・交流できる可能性がある。</u> ・<u>子どもの怪我などの時に、太良病院が近くにある</u> ・小学校や住宅街が周囲にある ・地域との交流ができる ・見通しが良い ・公共交通が使いやすい ・JR 駅から近い ・プールがあり便利 ・徒歩 1 0 分圏内に公共施設が集中しており利便性が良い ・<u>消防や警察が近く、また救急車をすぐに呼べる</u> ・給食センターが近くにある	・静かで勉強環境は良い ・<u>海が見える環境</u>
		課題点	・良い点を活かす状態はまだ整っていない。部活をしていない児童は周りの立地を活用できず、スクールバスで帰るだけになる ・放課後生徒が待機できる場所がない	・放課後に過ごせる場が整っていない。部活をしていない児童は周りの立地を活用できず、スクールバスで帰るだけになる。 ・放課後生徒が待機できる場所がない ・安全性として目が届きにくい ・<u>救急時の対応は時間を要する</u> ・プールがない
通学手段	路線バス	良い点	・時間帯がちょうどよい ・近くの生徒が限定的に利用できる ・バス停の周りが比較的広い場所が多い ・最寄りのバス停から近い	登下校共に時間帯が良い
		課題点	・登校時の時間帯が少し早く感じる ・部活動をしている生徒の乗れる時間はあるのか ・5 時間授業の日のバスがない	・大浦中沿いにバス停がないため位置の変更が必要 ・最寄りのバス停が狭く、広げないといけない ・<u>最寄りのバス停から少し遠い</u> ・部活動の生徒の下校時のバスがない
	JR	良い点	・<u>大浦→多良が 7 時台のため時間帯はちょうどよい</u> ・駅から近い ・登下校時ともに良い時間帯に 2 便運行している	
		課題点	・5 時間授業の日の J R がない	・多良→大浦が 6 時台のため時刻ダイヤ変更が必要 ・<u>登校時の便が 1 便しかなく、時間も早い</u> ・大浦駅から少し遠い
	スクールバス	良い点	・台数が丁度よく、住んでいる地域にまで回ってくれるのは、保護者的にはありがたい ・<u>4 路線程度のため良い</u>	
		課題点	・<u>スクールバスがメインでよい</u> ・JR, 路線バスメインは現実的でない ・保護者の送迎を極力ないようにする ・送迎停車場は学校から離れたところにし、地域の安全確保と、生徒が歩く習慣作りも必要 ・スクールバスになると広い範囲が必要 ・2 0 名の定員で勉強道具や部活道具を持っている中学生が 2 0 名乗ったら狭い。 ・下校時のスクールバスは部活をしていない生徒もいるため 2 回にわけてやるべき ・<u>待機場所が課題</u>	・本数が多すぎる。子どもを乗せて回るのは大変 ・亀の浦から入るのは狭く危険。グルメロードを通っていくべき ・現状自転車通学が禁止中のこともあり自動車通学が 8 ～ 9 割程度 ・<u>スクールバスが 6 台必要</u> ・下校時のスクールバスは部活をしていない生徒もいるため 2 回にわけてやるべき ・<u>待機場所が課題</u>

観点	評価項目	良い点 課題点	多良中学校	大浦中学校
教育環境	生徒数	良い点	・生徒数が多いとふれ合いや競い合いができる	
		課題点	・20 人台で2クラスにしてほしい ・生徒の減少	・生徒の減少
	部活動環境	良い点	・柔道、水泳、野球などすぐに子どもたちで行ける環境がある ・子どもたちの放課後の過ごす場として、既存の部活動、サークルなどと連携し、スポーツ、文化系の体験・交流できる場を増やせる可能性がある ・現在野球部、吹奏楽部は多良中で練習しているため統合後も影響はそこまでない	・テニス、剣道、吹奏楽ができる
		課題点	・良い点を活かす環境にはまだ整っていない。部活をしていない児童は周りの立地を活用できず、帰るだけになる ・大浦ソフトテニスは大浦ジュニアクラブと連携しているので、帰ってからの活動になる ・単独での活動が困難	・柔道、野球、水泳など多良で行っていた部活が、帰ってからになるので、時間ロスがでる。 ・単独での活動が困難
財政	校舎改修費概算	良い点		
		課題点	・生徒の健全な学習環境を整えるために全改修工事を必ずすべき。 ・数十年後の小学校の改修工事の際を見据えて、統一感ある中学校の校舎作りを考えていくべき ・数十年後を見据えて入口を小学校と同じにし、広がりある入口にすべき。 ・一つの入口から生徒たちが入れるようにしてほしい ・三階建てが良い	・教室棟、管理特別教室棟は、全解体すべき 今と同じ形で一体型の校舎にすべき ・外廊下は内廊下に
	通学費概算	良い点	・ <u>スクールバスの予算が抑えられる</u>	
		課題点		・ <u>スクールバスの予算が高くなる</u> ・年間運行料が高い
	維持管理費	良い点		
		課題点	・既存校舎では老朽施設の更新費がかかる	

≪その他の意見≫

維持管理費は現在の生徒数の違いもありどちらもあまり変わらない

人数に対しての規模が適正なのか不明で判断しにくい

通学手段全体的にテスト期間中など早く帰るときの手段

統合したら新しい部活を作ってほしい

何とかして JR を使わせたい（歩かないと人間として退化する）

スクールバスの場合、ある程度歩くことは必要なため細かく分けて、集合場所を決めてよいのでは

路線バスの場合、多良・大浦ともに大人数の利用時の不便さ（1台のバスでまかなえないだろう）